

各位

病害虫防除所長

平成23年度病害虫発生予察技術情報資料(第4号)の送付について

早期稲における斑点米カメムシ類(7月下旬)の発生調査結果

早期稲(乳熟期~黄熟期)の斑点米カメムシ類の発生状況について、下記及び別添のとおり取りまとめましたので、普通期稲に対する防除指導の参考にしてください。

記

早期稲における7月下旬(21日~26日)のすくいとり調査の一ほ場当たり平均虫数は4.3頭で、7月上~中旬調査時に比べて増加の傾向は見られず、平年(7.3頭)に比べ少発生となっています(下表及び別表参照)。

地域別では、県東部、中央部が平年並、中西部が平年に比べ少発生、西部はやや少発生となっていますが、地域によっては発生密度の高いほ場も見られます。

種別に見ると、ミナミアオカメムシが0.6頭(平年2.3頭)、クモヘリカメムシが1.4頭(平年2.5頭)で平年に比べ少ない発生となっていますが、これら大型種のカメムシ類は、2頭/ほ場(捕虫網50回振り)が要防除水準で、わずかの発生でも斑点米発生の原因となります。

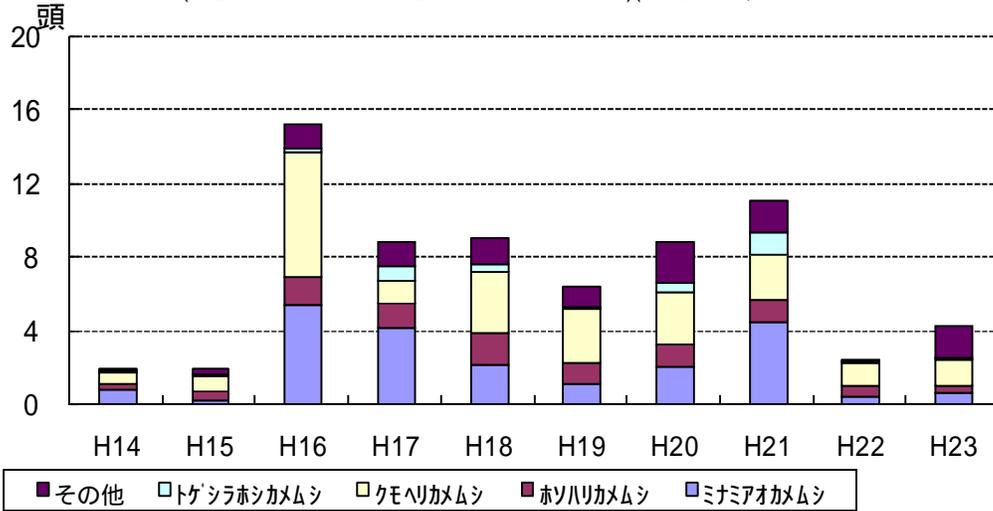
今後、普通期稲と早期稲が混在する地域では、早期稲から飛来するカメムシ類により斑点米の発生が予想されますので、出穂期以降にカメムシ類の発生がわずかでも見られる場合には、薬剤防除が必要となります。防除適期は、出穂10日後およびその5~7日後の2回です。

なお、防除にあたっては、農薬安全使用の遵守および周辺の農作物への飛散防止対策について指導の徹底をお願いします。

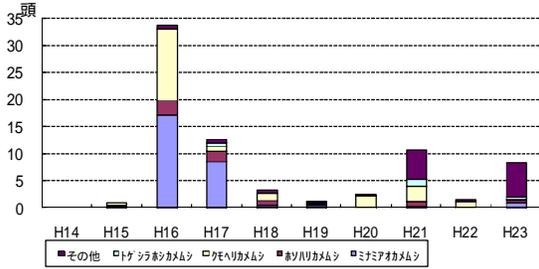
早期稲における1ほ場あたり斑点米カメムシ類の捕獲頭数
(捕虫網50回振り、成幼虫数)

		ミナミアオ カメムシ	ホリハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲシラホ シカメムシ	その他	合計
東部	本年	1.0	0.6	0.1	0.4	6.3	8.3
	平年	3.5	0.9	2.8	0.2	1.0	8.4
中央部	本年	0.9	0.4	1.7	0.1	1.0	4.1
	平年	1.7	0.9	1.2	0.3	0.7	4.8
中西部	本年	1.6	0.6	2.9	0.4	1.3	6.7
	平年	4.1	1.3	5.2	0.9	1.2	12.7
西部	本年	0.0	0.7	1.7	0.0	3.1	5.4
	平年	1.1	1.5	2.4	0.1	2.3	7.3
県内合計	本年	0.6	0.4	1.4	0.2	1.7	4.3
	平年	2.3	1.1	2.5	0.4	1.1	7.3

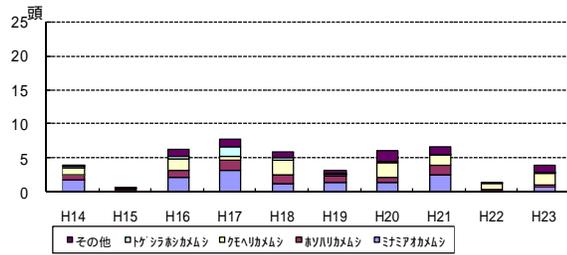
斑点米カメムシ類のすくいとり調査結果
(捕虫網50回振り・1圃場あたり平均頭数)(県内全域)



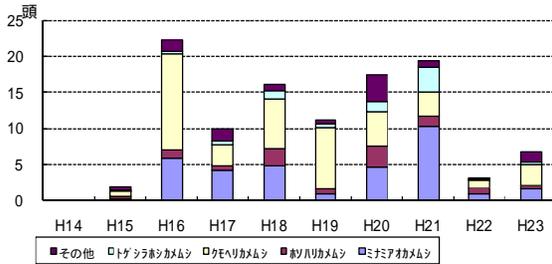
斑点米カメムシ類のすくいとり調査結果
(捕虫網50回振り・1圃場あたり平均頭数)(県東部)



斑点米カメムシ類のすくいとり調査結果
(捕虫網50回振り・1圃場あたり平均頭数)(県中央部)



斑点米カメムシ類のすくいとり調査結果
(捕虫網50回振り・1圃場あたり平均頭数)(県中西部)



斑点米カメムシ類のすくいとり調査結果
(捕虫網50回振り・1圃場あたり平均頭数)(県西部)

